

心輝け子どもたち!

名古屋市道德研究会研究発表会 開催 1月30日(火) 教育館にて

テーマ研究部会

テーマ「「道德の時間」を要とする道德教育の工夫 -「規範」の関連プログラムづくりを通して-



「規範」を「ルール」と「マナー」の二つの視点からとらえて、小学校や中学校で、「道德の時間」と各教科等における道德教育を関連させた「関連プログラム」実践してきました。

小学校高学年で実践した 関連プログラム

各教科等を通して様々な「マナー」について考えました。

2学期に行った関連プログラム

「マナーって何？」

- 社会科 受けつがれてきたマナーについて考える
- 学級活動 運動会のエールの意義について考える
- 道德① 社会の義務を果たすことについて考える
- 総合的な学習の時間 世界の国々のマナーについて考える
- 道德② 阪神淡路大震災の被災地で見られたマナーのある行動について考える

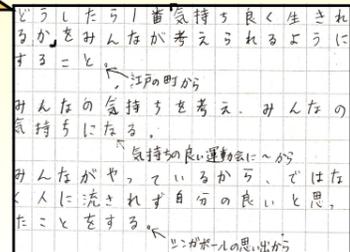
「道德②」の授業の様子

資料「苦しいときだからこそ」4-(1) 公德心
出典：『小学校道德教科書資料集』文部科学省



震災後の極限状態の中でも、きちんと並んで給水の番を待っていた人々の気持ちを考えました。

互いを思い合う大切さについて話し合う中で、これまでの社会科や学級活動等を通して考えてきた「みんなの気持ちを考える大切さ」に気付いた発言を引き出すことができました。



授業づくり研究部会

テーマ「子どもが“ときめく”道德の授業」 -自ら考えたいくなる指導法の工夫を通して-



子どもたちが“ときめく”道德の授業を目指して「話し合い」や「板書」など様々な工夫を追求してきました。発表会では、“ときめく”工夫を取り入れた実践を紹介しました。

書く活動の工夫

- 「表情の選択・手紙」
- 自分のこととして考えられる

話し合いの工夫

- 「レーダーチャート式グラフ」
- 主人公の気持ちを深く考えられる

板書の工夫

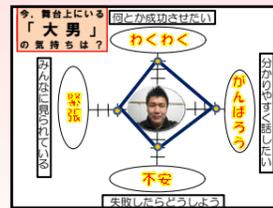
- 「心情曲線」「意識調査直線」
- 複雑な気持ちの変化を視覚的にとらえることで、考えを深められる

表現活動の工夫

- 「動作化」「表情絵・吹き出し」「心の円グラフ」
- 気持ちが変わった様子について、深く考えられる



心の円グラフ



レーダーチャート式グラフ

参加者の声

毎年参加しています。発表の仕方も毎回工夫され、授業を受けた子どもたちのときめきが伝わりました。

具体的ですぐに授業で活用できそうな工夫ばかりで大変参考になりました。

中学校でもタテの3年間のスパンだけでなく、ヨコの連携も図りながら、行えることが分かり、ぜひ今後に生かしていきたいと思います。

道德について、情報交換の場があることを知り、とても興味深く感じました。

指導案や実際の授業の様子など、詳しくは『会報 No.8』やCD-ROMをご覧ください！



指導・助言



名古屋市教育委員会
指導室指導主事
橋本吉太郎先生

学校全体で行う道德教育。その要の時間が道德の時間です。では、道德の時間の1時間が、他の教科とどのようにつながるのか、それを具体的にイメージ化したのが、テーマ研究部会から発表があった関連プログラムだと思います。この関連プログラムというものを是非、広めて頂きたいと思います。

また、各学校で、道德の授業公開も進めていると思いますが、道德の授業だからこそ、先生同士で情報交換ができる部分があると思います。そういった意味では、授業づくり研究部会の発表にあった、発問や板書の工夫、書く活動や表現活動の工夫、話し合いの工夫について、校内に広めるよう情報交換をして頂きたいと思います。

今日紹介があった6つの工夫は、もう1つ「説話の工夫」を入れて、7つの工夫として学習指導要領解説道德編にも掲載されています。この、説話の工夫についても研究をして教えて頂けるとありがたいと思います。また、工夫の後に子どもの心をどう耕したかについても教えて頂きたいと思いました。私自身、子どもたちに「教えよう」と思って授業をしていましたが、途中から「子どもたちと一緒に考えよう」という姿勢で授業に臨みました。そうすることで子どもと一緒に授業を作り上げていくことができるように思います。皆さんの実践に期待します。



名古屋市教育センター
指導主事
梶田 勉先生

テーマ研究部会では「規範」にスポットを当てられています。規範意識の高まりは、規範を内面化することが重要と会報にありました。人の心をコップと水に例えるなら、水が溜まっていくには、心情や判断力が高まったり、意欲が高まったりすることで水が溜まっていきます。そして、水があふれるとき、態度や行為として表れます。つまり内面からあふれ出ないと本当の規範意識が高まっていないと考えることができ、まったくその通りだと思いました。

授業づくり研究部会の発表は、とても楽しい発表でした。たぶん、先生方自身もときめいていた授業だったのではないかなと思いました。

今日紹介があった6つの工夫は、もう1つ「説話の工夫」を入れて、7つの工夫として学習指導要領解説道德編にも掲載されています。この、説話の工夫についても研究をして教えて頂けるとありがたいと思います。

また、工夫の後に子どもの心をどう耕したかについても教えて頂きたいと思いました。私自身、子どもたちに「教えよう」と思って授業をしていましたが、途中から「子どもたちと一緒に考えよう」という姿勢で授業に臨みました。そうすることで子どもと一緒に授業を作り上げていくことができるように思います。皆さんの実践に期待します。